

## 第 110 回番組審議会議事録

- 1 開催年月日 書面開催にて開催日は決めず、開催要項を 11 月 17 日に送付し  
12 月 4 日を締め切りとして番組審議委員より意見を募った。
- 2 開催場所 書面開催にて開催場所の設定はなし。
- 3 意見提出について
  - 委員総数 13 人
  - 意見提出委員 7 人
- 4 議題 ラジオ高崎の番組内容について
  - 「農 RADIO 農 LIFE」について
  - 番組全般について
  - その他
- 5 議事の概要 (別紙)
- 6 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、  
方法及び年月日
  - ・書面 ラジオ高崎に備え置き
  - ・ホームページ ラジオ高崎ホームページ内 <http://www.takasaki.fm>
  - ・ラジオ高崎放送 令和 2 年 12 月 13 日(日) 午前 6 時 55 分～6 時 59 分
- 7 その他の参考事項

(別紙)

- ・審議委員各位に送付した資料に記した審議対象番組「農 RADIO 農 LIFE」の説明。

地元高崎の農業をより深く、より身近に。9月よりスタートした高崎市内農産物広報活動実行委員会提供の「農 RADIO 農 LIFE」は、生産者に直接インタビューして、生産への思い、地域の特徴、味の魅力や調理方法等、生産物の魅力を存分に伝える14分番組。

取材の様子は、1分ダイジェスト映像を作成してラジオ高崎での放送の前にYouTube(ラジオ高崎チャンネル)にアップロードしている。また、再放送の最後の回が終わるまで高崎OPAの屋外広告ビジョンでも、概ね30分に1回この1分動画を放映している。なお、今回は、高崎市下大島町の三食農園をご紹介した回をサンプル音源とした。

放送日：火曜日 9:00～9:14 (本放送 第5週を除く) ※第2・4火曜日は再放送  
木曜日 10:45～10:59 (再放送)  
土曜日 8:15～8:29 (再放送)  
日曜日 10:00～10:14 (再放送) ※第2・4週のみ

出演：高崎市内農業従事者(生産者)  
ナビゲーター ラジオ高崎 大江響子

審議対象：11月3日(火祝) 本放送  
11月5日(木)・7日(土)・8日(日)・10日(火)・12日(木)・14日(土) 再放送  
※アップロードしたOA済素材をダウンロードして視聴する方法とCDの送付による視聴の両方を採用。

- ・委員各位の意見

「農 RADIO 農 LIFE」について

○ステイホームの時期、料理上手のお母さん、お父さんが腕を磨いたほか、子供やこれまで料理に関心の薄かった大人が料理に挑戦し、親しむ機会が増えた。番組では、食材の魅力、調理法、購入方法のほか、農家のドラマも織り込んでおり、そうした人たちそれぞれのニーズに応えるとともに、農業へのリスナーの関心を高める、タイムリーかつ意義のある企画だと感じた。また、農家と消費者をつなぐことは、強い農業を育てることにほかならず、サステナビリティの視点からも同じこと(時宜にかない、かつ有意義である)が言えると思う。

○番組では、調理中や食べているときの音を丁寧に収録し効果的に使っている。リスナーはその音を聞いて現場を想像するわけだが、目の前で調理しているのを見ている以上に食欲を刺激するのではないかと感じた。もしかしたら、周囲の様子など余計な情報がないことや、より能動的に味や食感、香りを想像しているからかもしれない。いずれにしても、食と音の関係性の強さに気づかせてくれる点で、ラジオでやることの意義を感じた。

○番組内容について、韓国ドラマからの影響で名付たという「三食農園」はとても素晴らしいネーミングだと感じた。また、だるまの幸喜の方というのも興味を引かれた。高崎でだるまが作られた経緯について農閑期に製作が始まったと聞き、自然な流れとして今も昔も高崎で根付いているのを感じて安心したというか、文化として感じた。

○収録の様子はフェイスブックで発信し、「見たい」というリスナーの欲求に応えている。必要不可欠なことだろうと思う。さらに、ラジオでは盛り込めなかったプラスアルファの情報（例えば別な調理例やレシピ、自宅での栽培方法、農園のロケーションが分かる地図やアクセス情報）があると、一層番組が引き立ち、リスナーの効果的な拡大につながるかもしれないと思った。

○試食の所での音演出はラジオならではのとても良い。ここをもっと長尺にして番組構成しても面白くなりそう。また、BGMのチョイスもよい。更に、販売場所についてOPAの高崎じまんに促していたのもよかった。買いやすい場所なのでリスナーが足を運ぶのでは。

○高崎の農産物と農家のこだわり愛が伝わり、とてもよい企画だと思う。大いに高崎をアピールしてほしい。

○番組の着眼点については大賛成。様々な産業・業種でも同じようなシリーズで番組作りが出来るとよいと思う。

○畑（現地）に出向いてレポートする番組はよくあるが、実際に、そこで採れた野菜を食べる「食べるレポート」までやっているのはとても良い。

○今回の農家さんは話が上手で聞きやすかったが、ご年配や方言の強い農家さんだった場合の大江アナの現地レポートを聴いてみたい。

○バックに流れている音楽が番組に合っていてワクワクする。

○バックの音楽が気にかかった。選曲には一考が必要かもしれない。

○効果音に少しわざとらしさがある。

#### 番組全体について

○コロナ禍にあって、放送の内容・方法は十分配慮しながら、高崎に関係ある状況については可能な限り周知・報道すべきだと思う。

以上